

故郷の豊浦の寺の尼の私房にして宴する歌三

首

一五五七番

明日香川 行き廻る岡の 秋萩は 今日降る雨に  
散りか過ぎなむ

一五五八番

鶉鳴く 古りにし郷の 秋萩を 思ふ人どち  
相見つるかも

一五五九番

秋萩は 盛り過ぐるを いたづらに かざしに挿  
さず 帰りなむとや